MASPRO

双方向 CATV 屋外(内)用　ブースター

CATV BOOSTERS
伝送周波数帯域　下り 70〜770MHz 上り 10〜 55MHz

77RKB20B　20dB型
77RKB28B　28dB型

AC100V方式またはDC15V方式

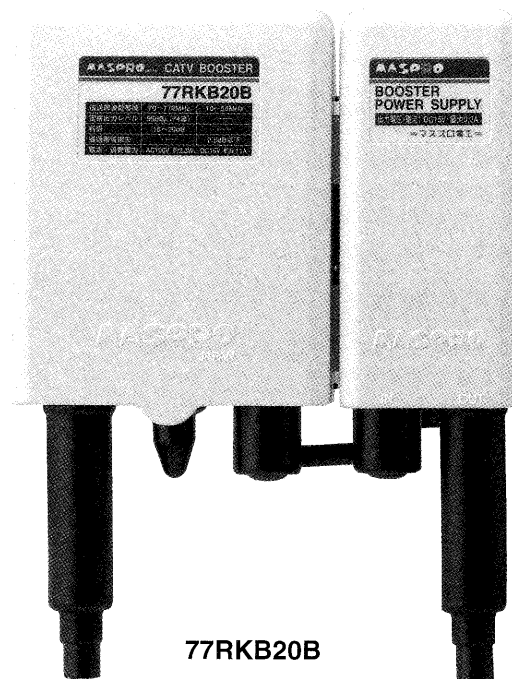
取扱説明書

電源部

77RKB20B

CATV加入者宅内の分配損失を補償する上り帯域パス回路付きのブースターです。

電源部連結型

MASter of PROduction 生産の覇者

優れた性能と機能

高出力

最新のCATV用高性能トランジスターを使用したマスプロ独自の増幅回路によって，74波のTV信号を95dBμの高出力で伝送できます。

双方向・片方向切換機能付

上り切換スイッチで，上り信号のパス機能を切換えられますから，双方向・片方向どちらのシステムにも使用できます。

チルト調整付（下り信号）

ケーブルの周波数特性によって発生する，信号のレベル差を補正できます。

電源部は取外し可能

AC100V方式のブースターとして使用する以外に，DC15V方式として，増幅部は屋外に，電源部は屋内に分離して取付けることができます。
（特許出願中）

優れた不要放射抑圧特性

増幅部および電源部の高周波回路をシールドしていますから，不要放射は50μV/m(34dBμ/m)以下になっています。
（有線テレビジョン放送法技術基準に準拠）

●ご使用の前に，この「取扱説明書」と「安全上のご注意」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

各部の名称と機能 77RKB20B

ご注意

- 利得を調整するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すとこわれることがあります。
- スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎるとこわれることがあります。

増幅部

利得調整について

出荷時，利得調整はMIN.の位置にしてあります。

電源部

電源表示灯

CATV下り

チルト切換（6dB）

- 70MHzにおける出力レベルを6dB調整できます。（770MHzの出力レベルは変わりません）
- 出荷時，0dBにしてあります。

利得調整

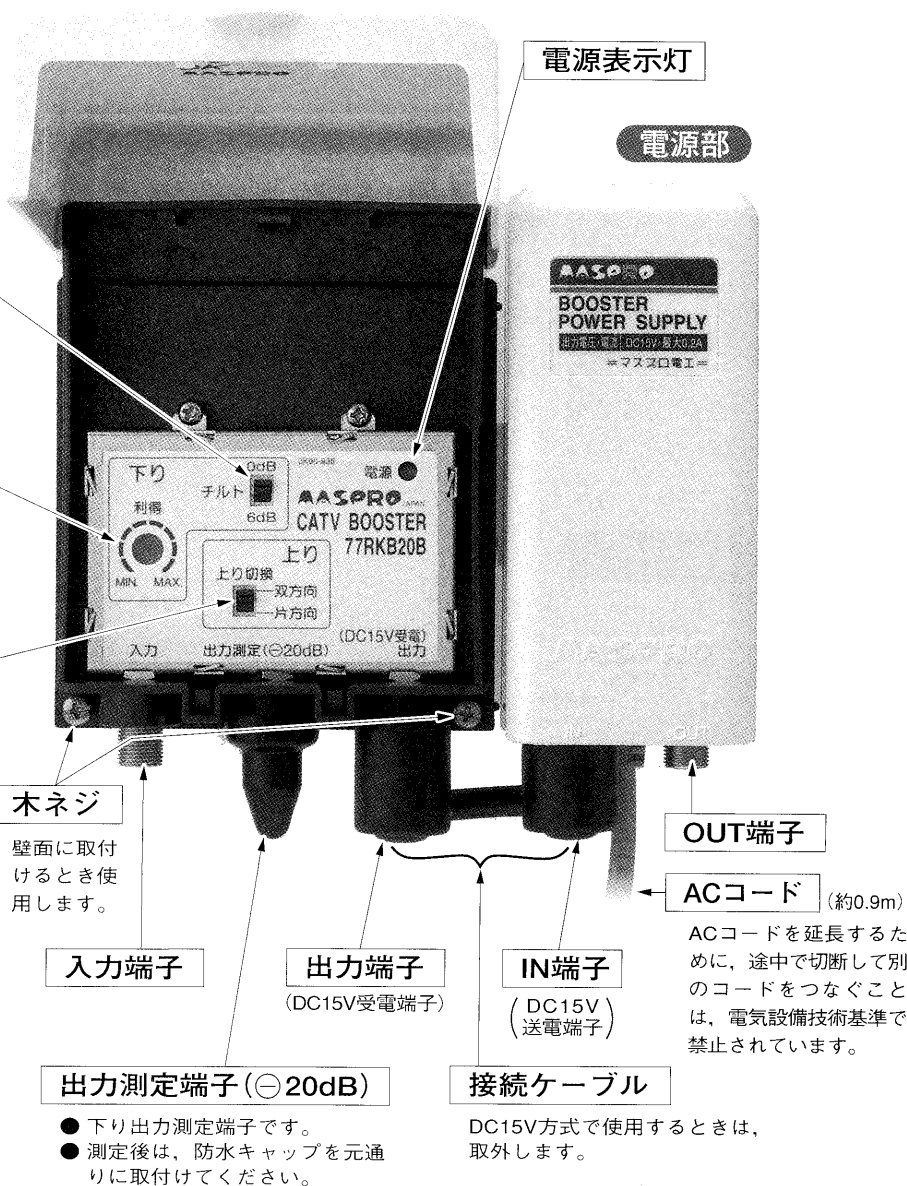
出力レベルが0～⊖6dB以上（連続可変）の範囲で調整できます。

CATV上り

上り切換

- 使用するシステムに合わせて，「**双方向**」または「**片方向**」に切換えてください。
- 出荷時は「**片方向**」にしてあります。

（双方向）
双方向システムに使用するとき。

（片方向）
片方向システムに使用するとき。

木ネジ

壁面に取付けるとき使用します。

入力端子

出力端子
（DC15V受電端子）

IN端子
（DC15V送電端子）

OUT端子

ACコード（約0.9m）

ACコードを延長するために，途中で切断して別のコードをつなぐことは，電気設備技術基準で禁止されています。

出力測定端子（⊖20dB）

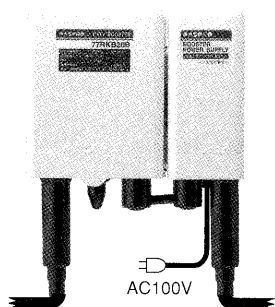
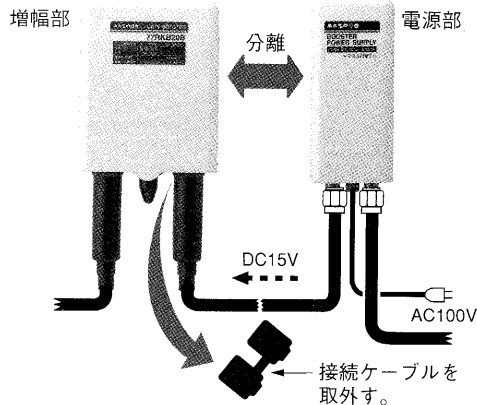
- 下り出力測定端子です。
- 測定後は，防水キャップを元通りに取付けてください。

接続ケーブル

DC15V方式で使用するときは，取外します。

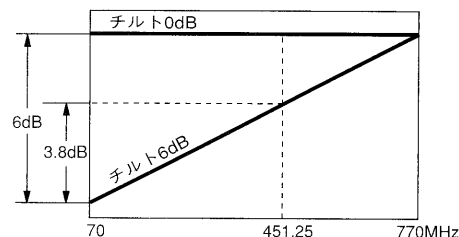
電源方式の変更

- 出荷時，AC100V方式で使用できるように，増幅部と電源部が接続ケーブルで連結してあります。DC15V 方式の場合，増幅部と電源部を分離して使用します。
- 詳しくは，p.3「電源部の分離方法」，p.4「使用例」をご覧ください。

（AC100V方式）

（DC15V方式）

チルト切換について

- チルトの表示値は，770MHz を基準とした70MHz でのチルト量です。
- チルトを切換えても，770MHz の出力レベルは変わりません。

（451.25MHzを基準としたチルト量）

チルトの設定	451.25MHz基準のチルト量
6dB	3.8dB

取付方法

⚠ 注意　AC100V方式で使用する場合，電源コードに雨水がかからない場所に取付けてください。

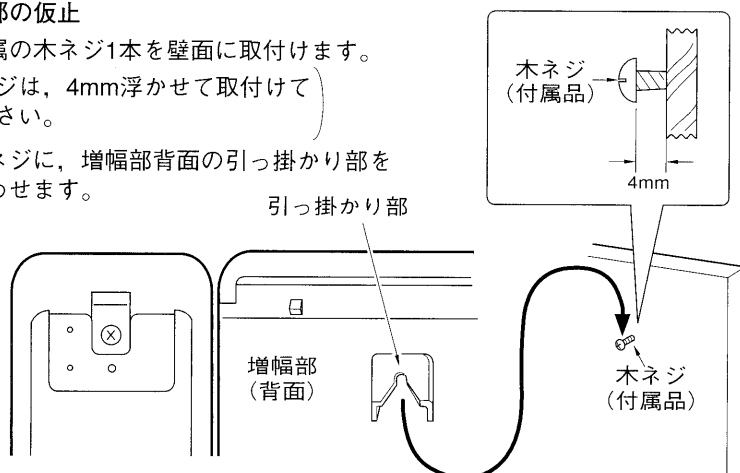
ご注意

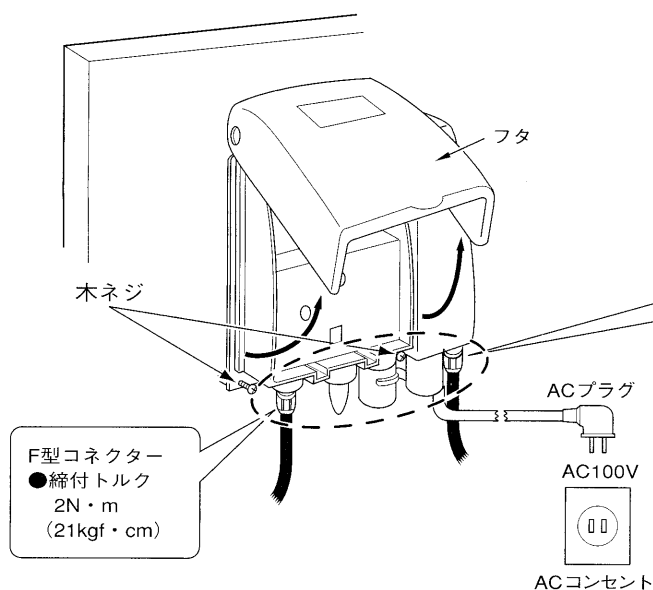
- ACプラグは，宅内の配線工事がすべて終了してから，ACコンセントに接続してください。
- 電源部をAMラジオの近くに置くと，ラジオから雑音が出ることがあります。
- ブースターは，グラスウールのような 断熱材の上に置いたり，包んだりしないでください。内部温度が上昇して，故障の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは，ACプラグをACコンセントから外してください。

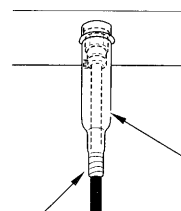
増幅部の取付方法

① 増幅部の仮止

●付属の木ネジ1本を壁面に取付けます。
（木ネジは，4mm浮かせて取付けてください。）

●木ネジに，増幅部背面の引っ掛かり部を合わせます。

② 壁面取付

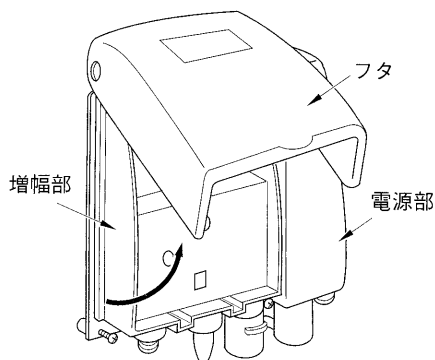
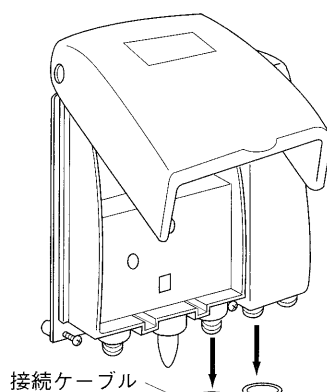
増幅部のフタを開け，増幅部に付いている木ネジ（2本）を締付けます。

防水キャップの取付けについて

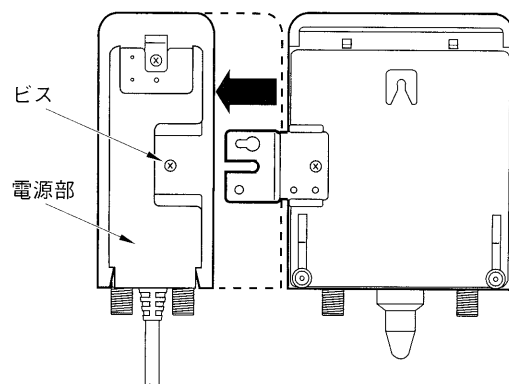
屋外に設置する場合，入力端子・OUT端子に，必ず付属の防水キャップを取付けてください。

防水キャップが外れるのを防止するために，市販のビニルテープで止めてください。

電源部の分離方法

屋外でAC100V電源が使用できないとき，電源部を屋内に設置します。

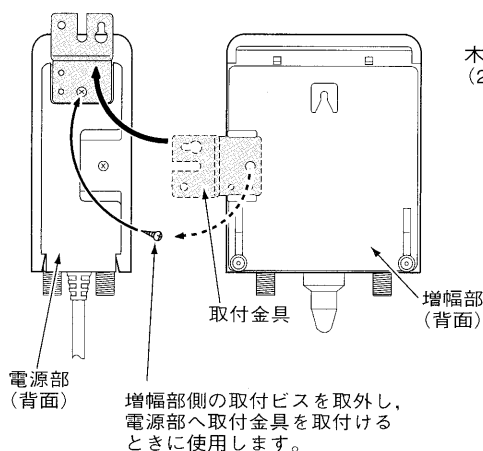
① 分離の準備

増幅部のフタを開けます。

② 接続ケーブルの取外し

③ 分離

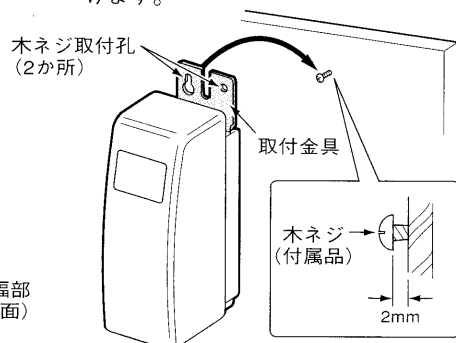
電源部の背面のビスをゆるめ，電源部を分離します。

電源部の取付方法

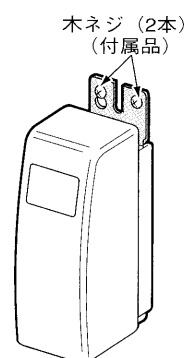
電源部は，壁面に取付けます。

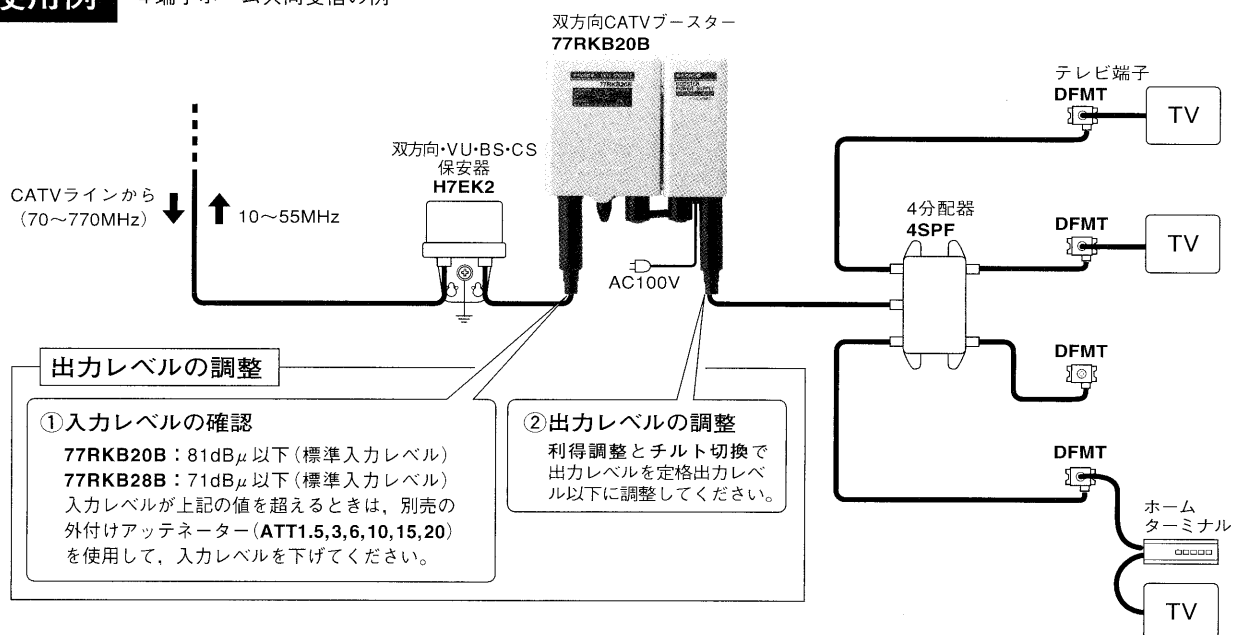
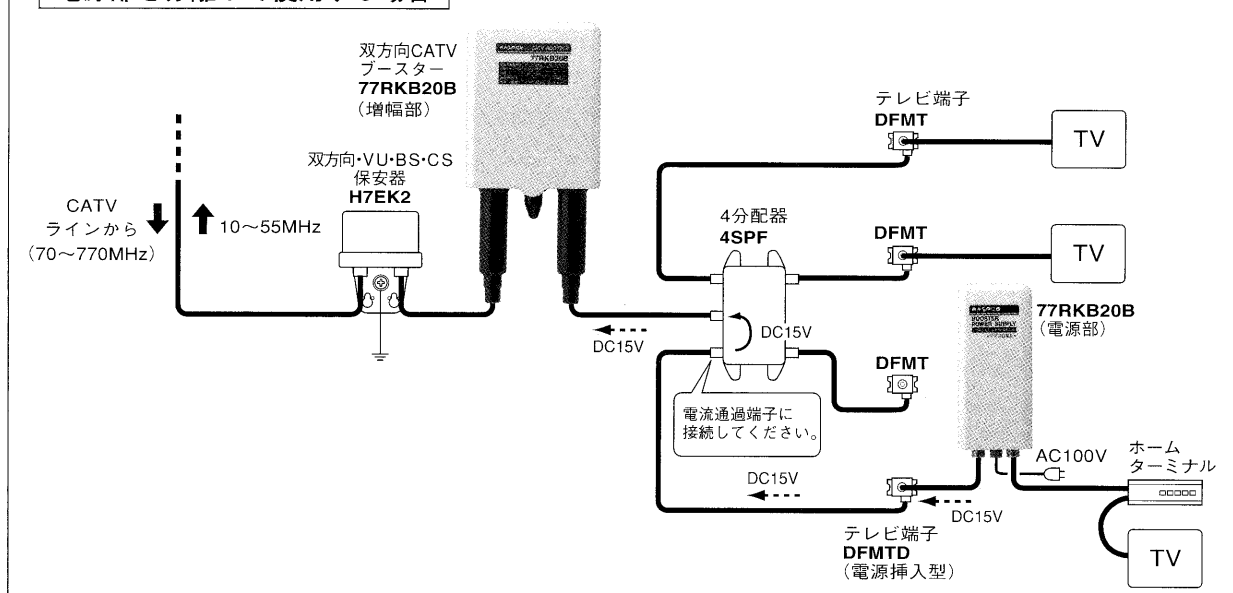
①取付金具の付換

増幅部と電源部を連結している取付金具を電源部に付換え，壁面取付用として使用します。

②電源部の仮止

●付属の木ネジ1本を壁面に取付けます。（木ネジは，2mm浮かせて取付けてください）

●木ネジに，取付金具の孔を引っ掛けます。

③壁面取付

付属の木ネジ（2本）で，しっかりと取付けてください。

使用例

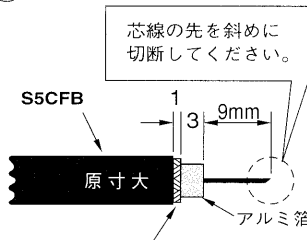
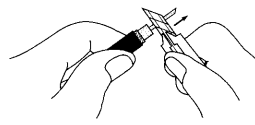
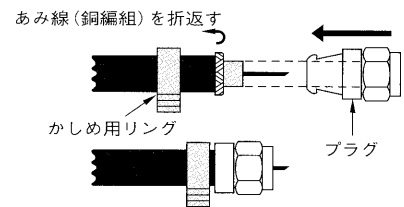
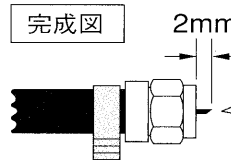
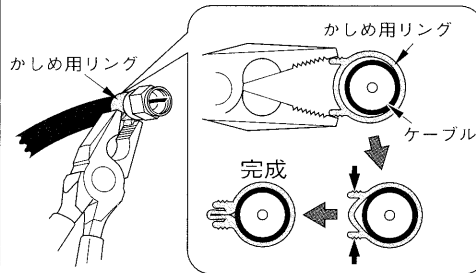
4端子ホーム共同受信の例

出力レベルの調整

①入力レベルの確認

77RKB20B：81dBμ以下（標準入力レベル）
77RKB28B：71dBμ以下（標準入力レベル）
入力レベルが上記の値を超えるときは，別売の外付けアッテネーター（**ATT1.5,3,6,10,15,20**）を使用して，入力レベルを下げてください。

②出力レベルの調整

利得調整とチルト切換で出力レベルを定格出力レベル以下に調整してください。

電源部を分離して使用する場合

正しく使用していただくために

① 画質が悪い ―――――――― 出力レベルが正しく調整してありますか。

② 出力測定端子に信号が出ない ―― ●入力信号がきていますか。
- 入力ケーブルのチェック
- 入力側コネクターとケーブルとの接続をチェック

●電源のチェック

③ ケーブル ―――――――― 断線またはショートしていませんか。F型コネクターを外して確かめてください。

④ 接続ケーブル ―――――― 増幅部・電源部間の接続ケーブルが外れたり，ゆるんだりしていませんか。

⑤ 電源表示灯（増幅部）――― 点灯していますか。電源部に電源（AC100V）が供給されているか確認してください。

⑥ 出力電圧（電源部分離時）―― 正常ですか。IN 端子の電圧は DC14.3 ～ 15.7V が正常です。

以上の方法でも，トラブルが解決できない場合，お近くの当社支店・営業所または本社技術相談までお問合わせください。

規格表 Specifications

増幅部

MASPRO

項目 *Items*		規格			
		CATV下り			CATV上り
伝送周波数帯域 *Frequency Range*		70〜770MHz			10〜55MHz
伝送波数 *Number of Transmission Signals*		74波	57波	32波	——
定格出力レベル *Rated Output Level*		95dBμ ※1	97dBμ ※1	99dBμ ※1	——
利得 *Gain*		**77RKB20B**：16〜20dB、**77RKB28B**：26〜30dB			——
通過帯域損失 *Insertion Loss*		——			2.5dB以下
出力レベル調整範囲 *Output Level Control Range*	利得 *Gain*	0〜⊖6dB以上（連続可変）			——
	チルト *Tilt*	6dB／70MHz ※2			——
周波数特性 *Response Flatness*		3dB以内			——
利得安定度 *Temperature Stability of Gain*		±1dB以内			——
雑音指数 *Noise Figure*		10dB以下			——
入・出力インピーダンス *Input / Output Impedance*		75Ω（F型コネクター）			
VSWR		2 以下			
2次相互変調 *2nd Order Intermodulation*		⊖60dB以下			——
CTB *Composite Triple Beat*		⊖60dB以下			——
CSO *Composite Second Order Beat*		⊖60dB以下			——
混変調 *Cross Modulation*		⊖56dB以下			——
ハム変調 *Hum Modulation*		⊖60dB以下			——
不要放射 *Radiation*		34dBμ/m 以下			
耐雷性 *Surge Protection Voltage*		15kV（1.2／50μs）のサージ電圧に耐えること			
出力測定端子結合量 *Tap Value of Output Test Point*		⊖20dB（F型コネクター）			
使用温度範囲 *Temperature Range*		⊖20〜⊕40℃			
電源 *Power Requirements*		DC15V 約0.11A			
外観寸法 *Dimensions*		137(H)×93(W)×49(D)mm ［電源部連結時 137(H)×145(W)×49(D)mm］			
質量（重量） *Weight*		約210g［電源部連結時 約470g］			
シンボル *Symbol*		—▷—			

※1 ディジタル信号は⊖10dB運用。
※2 770MHzを基点とした70MHzでのチルト量です。

電源部

MASPRO

項目 *Items*	規格
伝送周波数帯域 *Frequency Range*	10〜770MHz
1次電圧 *Primary Voltage*	AC100V 50・60Hz
消費電力 *Power Consumption*	約2.3W
出力電圧・電流 *Output Voltage/Current*	DC15V 約0.11A
入・出力インピーダンス *Input / Output Impedance*	75Ω（F型コネクター）
挿入損失 *Insertion Loss*	1dB以下
VSWR	2 以下
使用温度範囲 *Temperature Range*	⊖20〜⊕40℃
外観寸法 *Dimensions*	121(H)×52(W)×49(D)mm （壁面取付時 132(H)×52(W)×49(D)mm）
質量（重量） *Weight*	約240g（取付金具含む）

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

MASter of PROduction 生産の覇者

意匠登録 第1101997号

付属品

防水キャップ ………………… 2個
木ネジ ……………………… 3本

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋(052)802−2244
工事営業部 〃 (052)802−2225
技術相談 〃 (052)805−3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所
沖縄 (098) 854-2768
鹿児島 (099) 812-1200
宮崎 (0985) 25-3877
熊本 (096) 381-7626
長崎 (095) 864-6001
福岡(支) (092) 531-3861
北九州 (093) 941-4026
下関 (0832) 55-1130
徳山 (0834) 32-2954
広島 (082) 230-2351
松江 (0852) 21-5341
岡山 (086) 252-5800
松山 (089) 973-5656
高知 (088) 882-0991
高松 (087) 865-3666
姫路 (0792) 34-6669
神戸 (078) 843-3200
大阪(支) (06) 6635-2222
工事営業部 (06) 6632-1144
京都 (075) 646-3800
津 (059) 234-0261
岐阜 (058) 275-0805
名古屋(支) (052) 802-2233
工事営業部 (052) 804-6262
豊橋 (0532) 33-1500
静岡 (054) 283-2220
松本 (0263) 57-4625
福井 (0776) 23-8153
金沢 (076) 249-5301
新潟 (025) 287-3155
横浜 (045) 784-1422
渋谷(支) (03) 3409-5505
工事営業部 (03) 3499-5631
秋葉原 (03) 3255-7335
青戸 (03) 3695-1811
八王子 (0426) 37-1699
千葉 (043) 232-5335
さいたま (048) 663-8000
前橋 (027) 263-3767
水戸 (029) 248-3870
宇都宮 (028) 660-5008
郡山 (024) 952-0095
仙台 (022) 786-5060
盛岡 (019) 641-1681
秋田 (018) 862-7523
青森 (017) 742-4227
函館 (0138) 53-7355
札幌 (011) 782-0711
釧路 (0154) 23-8466
旭川 (0166) 25-3111
北見 (0157) 61-0480

2K55-424
B-31-4424-2L
JAN., 2003